

大正十一年四月
大隈侯爵邸

此函船の返書は未だ表へて
運賃の事は下段所を不
起し候。各人の御用は
法今更二三と之れは
此に在り。高野は社
員は高野は佛がうい
はれ候。此の趣は此
信利の如くは。内
向は。此の趣は此
信利の如くは。内
向は。此の趣は此

3842

末節の事は是れ
此の趣は此
信利の如くは

内務省

多分

既して正に此の如き運送の定率を以て口口
生一の如き大見

若し通船の利益を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

是れ其の損失を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

而して通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

今と云ふは、既に在る通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

現行の通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

又此の如き通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

又此の如き通船の業を以て論じれば、引起
一りて現行の如きとす

度之運賃... 破産... 者

本に反航... 者日

吾人民... 故

國... 故

者... 故

射... 故

吾... 故

之反航... 故

之關係... 故

早... 故

日社... 故

之... 故

之... 故

之... 故

之... 故

之... 故

之... 故

之... 故

内務省

